

町田市生涯学習推進計画 2019 - 2023



2019年3月
町田市教育委員会



第1章 計画の改定にあたって

1 生涯学習とは

生涯学習とは、市民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において主体的に行う学習活動の総称です。内容は教養的なものだけでなく、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど、幅広い分野を網羅します。また、学習の形態についても、個人学習や、公共機関が実施する講座の受講、民間のカルチャーセンターやスポーツクラブでの活動、仲間とのサークル活動など、多岐にわたります。さらに、知識や技能の習得を意図したものだけでなく、地域活動や学校への協力、ボランティア活動など、活動の中から自然に身につけていくものまで生涯学習に含まれます。

生涯にわたって学ぶことは、日常生活での楽しみや心の豊かさにつながるほか、人間関係の構築や視野の拡大等、生活をより良いものにしていきます。加えて、学んだ成果を活かしてボランティアなどの市民活動や地域活動に参画することで、地域を豊かにすることにもつながり、社会的にも大きな役割を果たすこととなります。

〈教育基本法〉

第3条（生涯学習の理念）国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

2 計画改定の背景と目的

町田市教育委員会では、2009年2月に町田市の教育振興基本計画として「町田市教育プラン（以下、「教育プラン」という。）2009-2013」を策定しました。

2014年2月には、2018年度までを計画期間とする「教育プラン 2014-2018」を策定し、生涯学習の一層の拡充、図書館の利便性の更なる向上、文化資源の一層の活用等に重点的に取り組み、生涯学習に関する様々な施策を推進してきました。

一方、「教育プラン」策定以降、社会や経済の状況は目まぐるしく変化を続けてきています。それに伴い、市民の学習課題や興味・関心、地域が抱える課題なども、複雑化・多様化しています。

このような状況を踏まえ、これまでの取組による成果や課題を振り返り、町田市が目指す生涯学習の姿の実現に向けて、2019年度からの5カ年を計画期間とする新たな「教育プラン 2019-2023」を策定しました。

「町田市生涯学習推進計画（以下、「生涯学習推進計画」という。）2019-2023」は、この「教育プラン」に基づく生涯学習施策を、計画的かつ着実に展開することを目的に策定するものです。

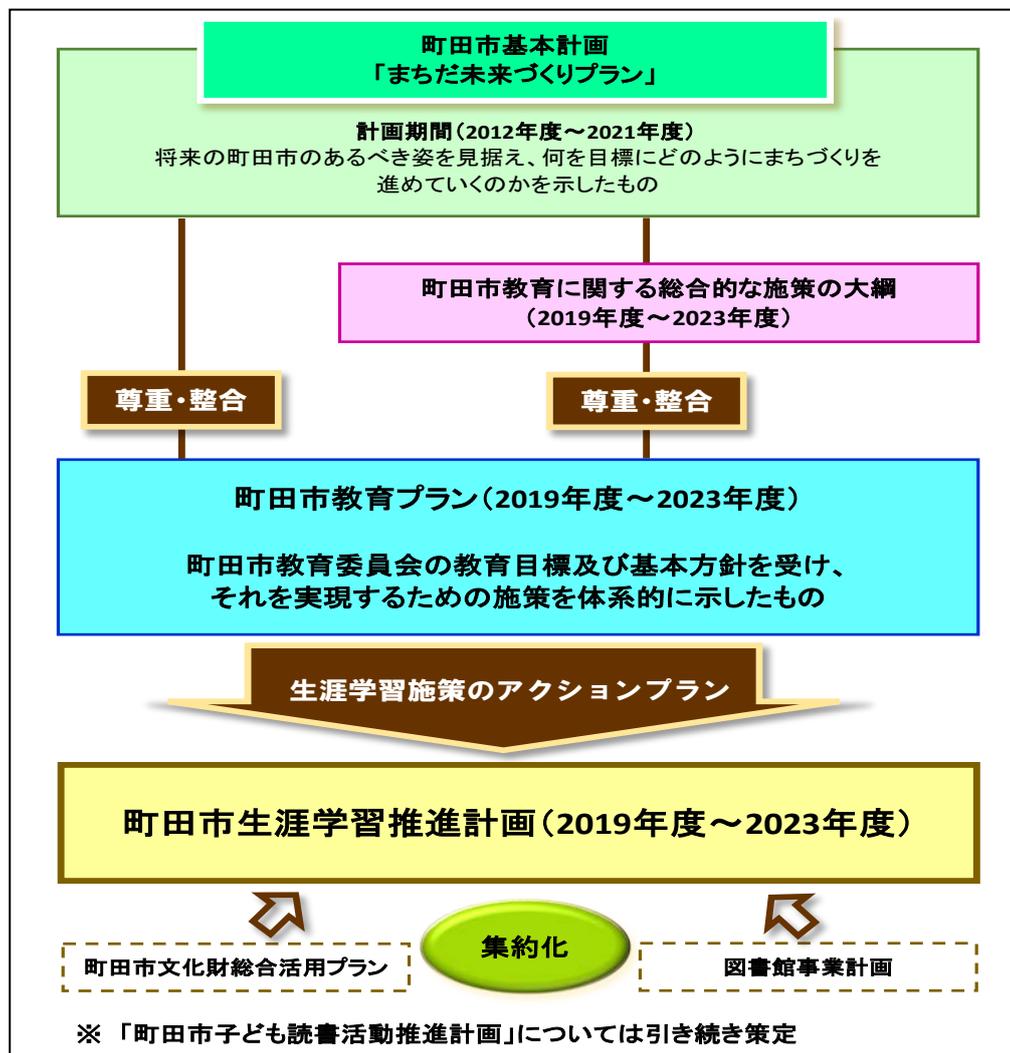
3 計画の位置づけ

「生涯学習推進計画」は、「教育プラン」で定める生涯学習施策を具現化するためのアクションプラン（行動計画）です。

2014年度から2018年度においては、生涯学習部は「生涯学習推進計画」「町田市文化財総合活用プラン」「図書館事業計画」「町田市子ども読書活動推進計画」の4つのアクションプラン（行動計画）を策定していました。

2019年度から2023年度においては、各計画の整合をさらに図り、連携を密にして取り組みをすすめるため、「教育プラン」を受けて実施する主要な取組として、それぞれを「生涯学習推進計画」に集約しました。

なお、「町田市子ども読書活動推進計画」については、引き続き策定します。



4 計画期間

本計画の期間は、2019年度から2023年度までの5年間とします。

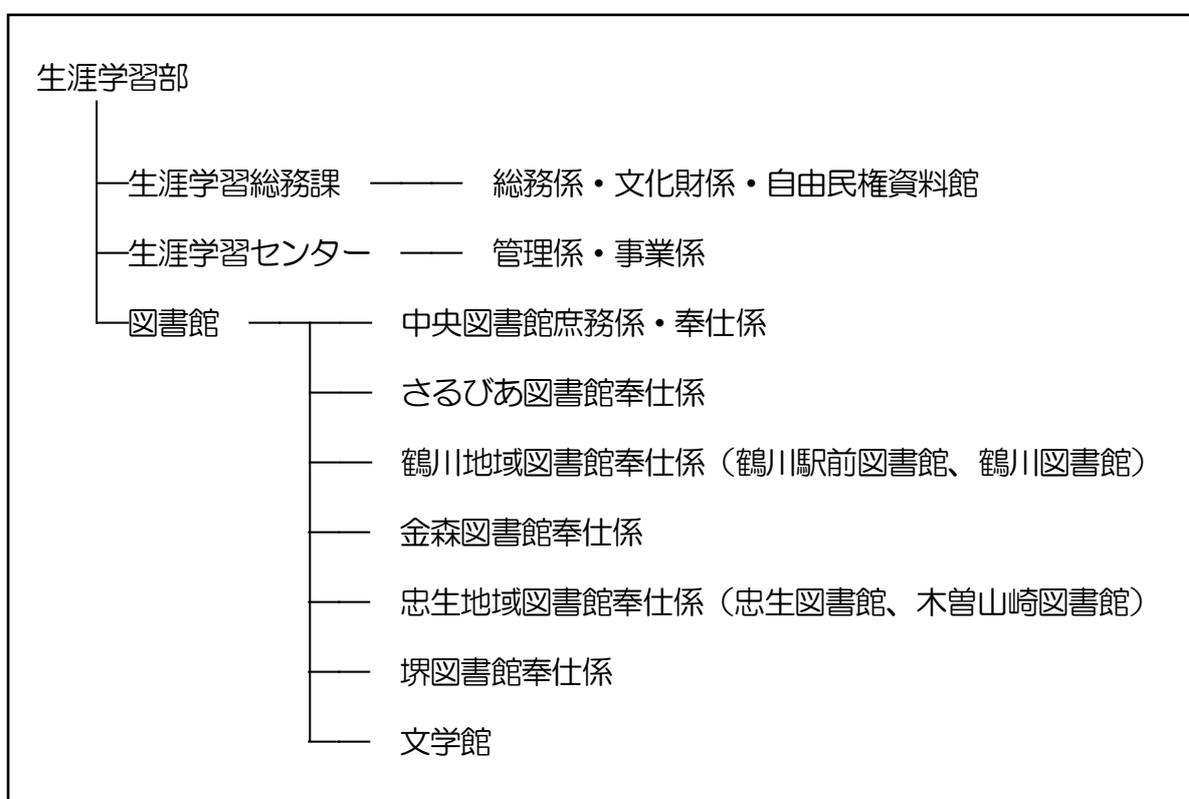
5 計画の推進

本計画は、取組ごとに定めた工程表に基づき確認を行い、着実に推進します。

また、本計画の進捗管理については、「教育委員会の事務の点検及び評価*」や各附属機関等*の意見を確認しながら、進捗状況を年度ごとに整理し、結果を公表します。

生涯学習部の組織図

生涯学習部の組織は下記のとおりです。



*教育委員会の事務の点検及び評価：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられています。

*各附属機関等：町田市生涯学習審議会、町田市文化財保護審議会、町田市立図書館協議会、町田市民文学館運営協議会、町田市生涯学習センター運営協議会を指しています。

2 「生涯学習推進計画 2019-2023」について

「生涯学習推進計画 2014-2018」は生涯学習部が所管する事業を全般的に記載していました。「生涯学習推進計画 2019-2023」では、10ページから12ページに記した「今後の課題」を着実に解決するため、今後5年間に重点的に推進していくべき取組を定めるものです。

3 教育目標と基本方針

「教育プラン 2019-2023」では、「教育目標」と「基本方針」を以下のとおり定めています。

○教育目標

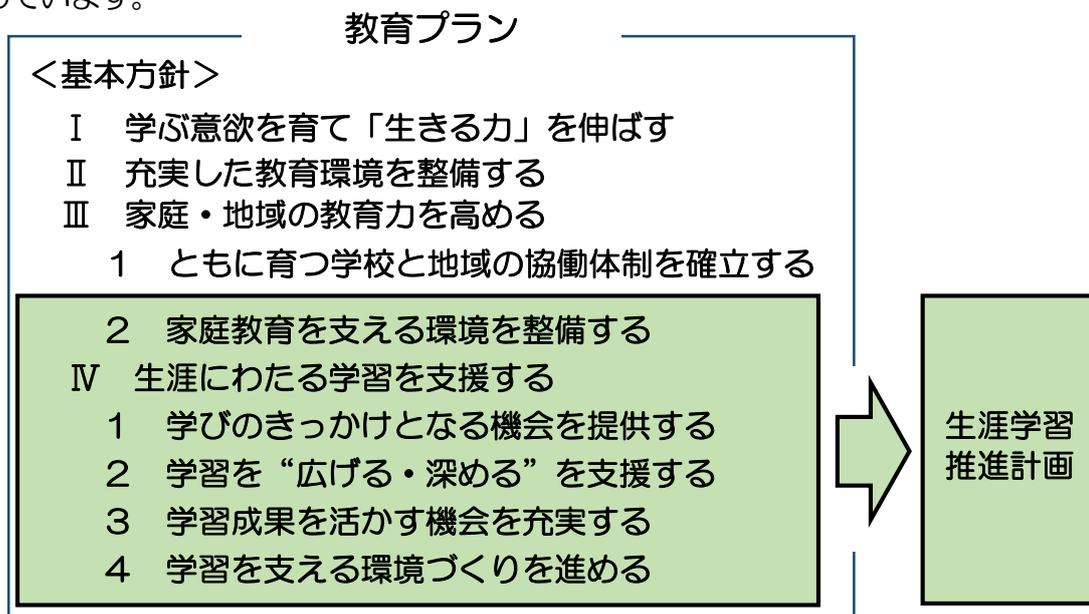
夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。
生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。

○基本方針

- I 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす
- II 充実した教育環境を整備する
- III 家庭・地域の教育力を高める
- IV 生涯にわたる学習を支援する

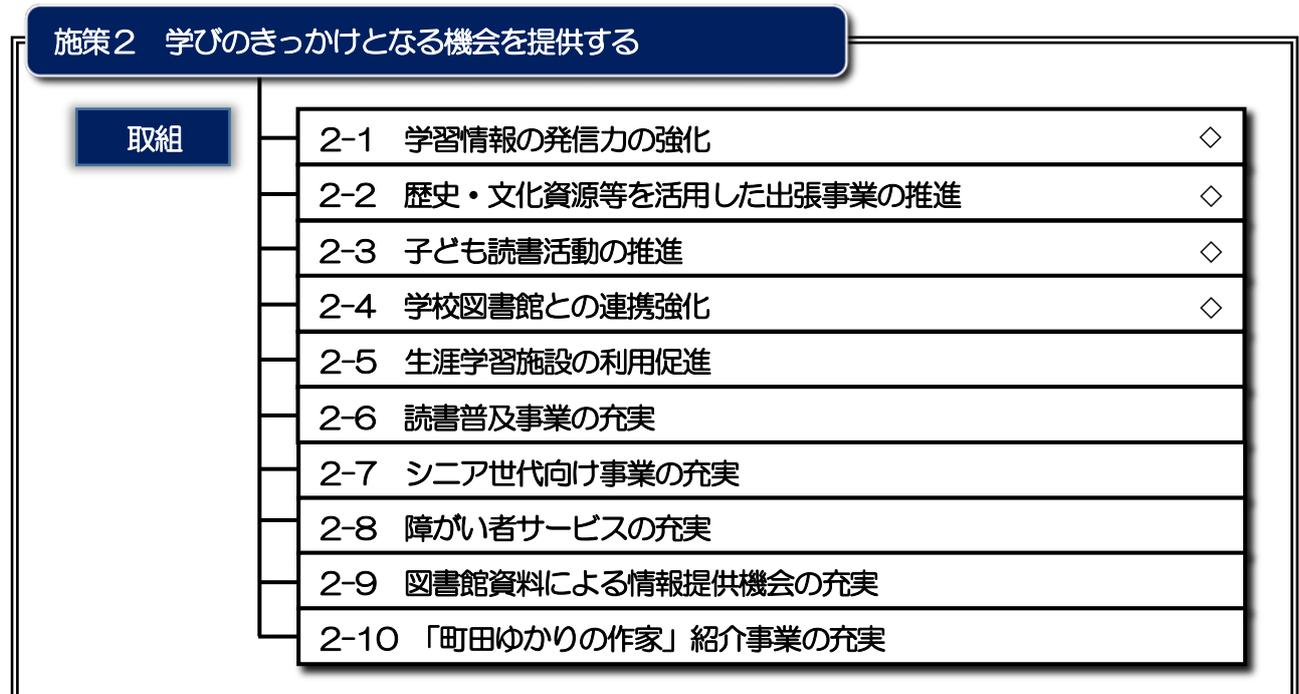
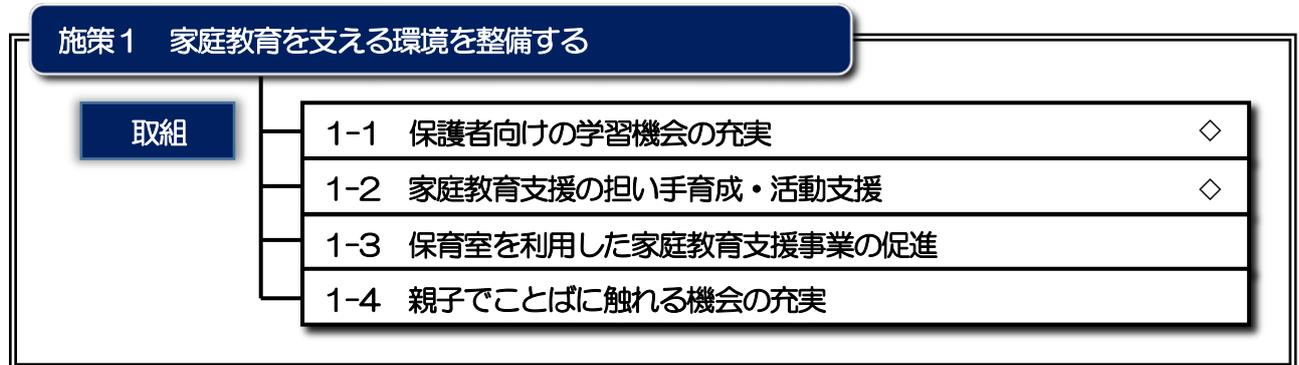
4 教育プランとの関係と計画の構成

「生涯学習推進計画 2019-2023」は、「教育プラン 2019-2023」で定める「教育目標」と「基本方針（Ⅲ・Ⅳ）」を受け、それを実現するための施策と、課題解決に向けた取組からなります。なお、教育プランで定めた「重点事業」を中心に39の取組を定めています。



第4章 計画の推進に向けた施策の展開

「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」の体系図



施策3 学習を“広げる・深める”を支援する

取組

- 3-1 地域の課題解決に向けた学習支援 ◇
- 3-2 町田の歴史情報の提供 ◇
- 3-3 「文学の扉」事業の推進 ◇
- 3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進
- 3-5 文化財の公開・活用の充実
- 3-6 展示事業の充実
- 3-7 講座・講演会事業の充実
- 3-8 レファレンスサービスの充実

施策4 学習成果を活かす機会を充実する

取組

- 4-1 市民提案型事業の推進 ◇
- 4-2 協働による研究・発表の推進 ◇
- 4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援 ◇
- 4-4 学習成果の発表機会の支援
- 4-5 生涯学習ボランティアバンク事業の推進
- 4-6 障がい者の学習成果を発表する場の充実
- 4-7 図書館運営の地域協働化の促進
- 4-8 市民の文学活動への支援

施策5 学習を支える環境づくりを進める

取組

- 5-1 支援が必要な人への学習機会の提供 ◇
- 5-2 本と出会う場所の創出 ◇
- 5-3 文化財の保存と活用環境の整備 ◇
- 5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存
- 5-5 図書館利用者の利便性の向上
- 5-6 地域資料の活用の推進
- 5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施
- 5-8 町田の文学の継承
- 5-9 文学財産の保存

◇…教育プラン重点事業

施策1 家庭教育を支える環境を整備する

<現状と課題>

- 家庭教育は、全ての教育の出発点であり、子どもが生活習慣や豊かな情操、倫理観や社会的マナーなどを身につけるうえで、重要な役割を果たすものです。
- 家族形態の変容、地域の間人関係の希薄化などの影響もあり、家庭教育に関する相談をできる相手が身近に見つけにくく、保護者が孤立化する傾向がみられます。
- 家庭教育に関する情報は、インターネットを中心に様々な媒体で発信されていますが、それらの情報の中から適切な情報を選択することが難しく、かえって保護者の悩みを深めてしまうなど、家庭教育を行う困難さが指摘されています。
- 子育て中の保護者が、子育てのスタート期から安心して子どもたちを育てていくことができるよう、地域ぐるみで家庭教育を支える環境を整備することが重要です。

<取組>

- 1-1 保護者向けの学習機会の充実
- 1-2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援
- 1-3 保育室を利用した家庭教育支援事業の促進
- 1-4 親子でことばに触れる機会の充実



▲家庭教育を支える環境を整備する
乳幼児の保護者向け講座の様子



▲「ちんぷいぷい」(0~1歳児対象
おはなし会)でのわらべ唄遊びの様子

■取組1-1 保護者向けの学習機会の充実【◇】	生涯学習センター
-------------------------	----------

事業概要	保護者を対象に、子どもの年齢や成長に応じて生じる悩みや問題の解消につなげる学習機会を提供します。実施にあたっては、保護者をはじめ学校、PTAなど幅広くニーズを調査し、事業内容に反映していきます。				
これまでの取組	0歳児・1歳児とその保護者、妊婦を対象とした「まなびのひろば事業」、乳幼児期から思春期までの保護者向けの学習講座を定期的実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①まなびのひろば*延べ参加者数		698人	880人	
	②家庭教育講座延べ参加者数		459人	570人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	保護者の学習機会の把握		アンケート等によるニーズ調査・事業内容への反映		
	各種学習事業の実施				
年度目標（指標①）	730人	760人	800人	840人	880人
年度目標（指標②）	480人	500人	520人	540人	570人

*まなびのひろば：生涯学習センターで実施する市内在住の0歳児・1歳児とその保護者、または妊婦を対象とした子育てに関するひろば事業。手遊びやスキンシップ遊び、絵本の読み聞かせ、保護者同士の情報交換などを行う。

■取組1-2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援【◇】	生涯学習センター
-----------------------------	----------

事業概要	まなびのひろば事業や子育て講座などの学習機会を地域で展開できるよう、担い手を育成します。実施にあたっては、関係機関と連携しながら、ニーズの把握、育成プログラムや修了後の活動拠点などの検討を進め、家庭教育支援の充実を図ります。				
これまでの取組	家庭教育支援の担い手を育成する事業として「家庭教育支援学級」を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①担い手育成事業修了者数（累計）		31人	164人	
	②修了者が企画した学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	育成プログラム及び活動支援手法の研究		担い手育成事業の実施 修了者の活動支援の実施		
	修了者が企画した学習事業（3事業）実施		修了者が企画した学習事業（4事業）実施		修了者が企画した学習事業（5事業）実施
年度目標（指標①）	31人	62人	95人	129人	164人
年度目標（指標②）	3事業	3事業	4事業	4事業	5事業

施策2 学びのきっかけとなる機会を提供する

<現状と課題>

- 学習は、知識や技能の習得だけでなく、日常生活の楽しみや心の豊かさにつながるほか、人間関係の構築や視野の拡大、生活課題や地域課題の解決等、続けていく中で様々な効果をもたらすことが期待されるものです。
- 市の生涯学習施設の認知度は低く、施設の利用者数や主催事業の参加者数は伸び悩んでいる状況です。そのため、生涯学習への関心を高め、継続的な学びにつなげていくきっかけとなるよう、より身近な学習機会を提供する必要があります。
- 歴史や文化に触れることは、その地域を知り、愛着や誇りを生むきっかけとなります。そのため、より身近に町田市の歴史や文化に触れられる機会を提供する必要があります。
- 学年が上がるにつれ、子どもが本を読む機会は少なくなる傾向にあります。そのため、子どもの頃から身近に本があり、読書習慣を身につけてもらえる環境づくりを進める必要があります。

<取組>

- 2-1 学習情報の発信力の強化
- 2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進
- 2-3 子ども読書活動の推進
- 2-4 学校図書館との連携強化
- 2-5 生涯学習施設の利用促進
- 2-6 読書普及事業の充実
- 2-7 シニア世代向け事業の充実
- 2-8 障がい者サービスの充実
- 2-9 図書館資料による情報提供機会の充実
- 2-10 「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実



▲東京文化財ウィーク（2016年）



▲おひざでだっこのおはなし会

■取組2-1 学習情報の発信力の強化【◇】 生涯学習センター

事業概要	学習情報をより多くの市民に提供できるよう、町田市ホームページモバイル（スマートフォン版）の学習情報誌「生涯学習NAVI」の利用促進を図ります。さらに、他団体で発信している情報誌やホームページなどの情報発信媒体との連携を図り、情報発信力を強化します。				
これまでの取組	ホームページや「生涯学習NAVI」の内容を見直しました。また、学習情報に関するポータルサイトの構築に向けて検討しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組の実施		未実施	実施（2020年度）	
	②新たな情報発信媒体の活用		未実施	活用（2021年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	利用促進に向けた手法の検討	スマートフォン版「生涯学習NAVI」利用促進に向けた取組の実施・検証			
	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	新たな媒体の活用・検証		
年度目標（指標①）	検討	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
年度目標（指標②）	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	活用・検証	活用・検証	活用・検証

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】 文化財係・自由民権資料館・文学館

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証	検証を踏まえた新たな事業の実施			
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

施策3 学習を“広げる・深める”を支援する

<現状と課題>

- ・市民一人一人が自分に合った学習を継続的に行い、学びを深めていってもらえるよう、学習の段階や課題に応じた多様な支援を行っていく必要があります。
- ・各地域には、様々な分野の課題があり、これらの課題を解決するためには、地域の実情に応じたまちづくりに住民自らが取り組んでいくことが重要です。そのためには、住民一人一人が地域に関心や愛着をもち、考え、学び合いながら知識や技能等を習得していくことが必要です。
- ・市民活動や地域活動への参加率は高くはないものの、参加に前向きな市民は多く、また、参加に向けての学習へのニーズが高まっています。
- ・多くの人々が、地域の歴史や文化を学ぶことに関心があり、町田市の歴史や文化を活かした学習事業を充実する必要があります。

<取組>

- 3-1 地域の課題解決に向けた学習支援
- 3-2 町田の歴史情報の提供
- 3-3 「文学の扉」事業の推進
- 3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進
- 3-5 文化財の公開・活用の充実
- 3-6 展示事業の充実
- 3-7 講座・講演会事業の充実
- 3-8 レファレンスサービスの充実



▲鶴川地区協議会「3水スマイルラウンジ」
学びのひろば



▲町田自由民権カレッジでの
フィールドワーク

■取組3-1 地域の課題解決に向けた学習支援【◇】 生涯学習センター

事業概要	地区協議会をはじめとした地域団体や関係機関と連携・協働しながら、住民自らが課題を見つけ出し、解決に向けて行動できるよう学習支援を進めていきます。				
これまでの取組	鶴川地区の交流促進や様々な困りごとの相談の場となっている鶴川地区協議会主催「3水スマイルラウンジ」にて「学びのひろば」を共催し、地域の歴史や文化を理解する講座などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	連携事業を実施した地区協議会の数（累計）		1地区	5地区	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各地区協議会への働きかけ				
	地区協議会との連携事業の実施（1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施（1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施（2地区）
年度目標	2地区	検証	3地区	検証	5地区

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】 文化財係・自由民権資料館

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	町田デジタルミュージアム構築の進捗		未実施	システム構築完了、公開（2022年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	歴史資料分構築・公開	考古資料分構築・公開	考古及び民俗資料分構築・公開	公開	
	歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

施策4 学習成果を活かす機会を充実する

<現状と課題>

- 生涯学習は、個人の生活を豊かにすることはもとより、その成果が地域の中で活かされることによって、地域づくりに寄与することにつながります。
- 地域では様々な学習活動が展開されており、多様な知識や技能をもった人がたくさんいます。学びを深めた人たちが、学んだ成果を活かした活動を地域の中で展開することで、市民同士の学び合いの輪が広がります。
- 学習成果を自分の生活だけでなく、他者のために活かしたいというニーズが高まっていますが、学習者と学習成果を活かせる場とのマッチングが十分に行われているわけではありません。そのため、学習者が習得した知識や技能を活かして活躍できる機会の提供や仕組みづくりを進めていく必要があります。

<取組>

- 4-1 市民提案型事業の推進
- 4-2 協働による研究・発表の推進
- 4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援
- 4-4 学習成果の発表機会の支援
- 4-5 生涯学習ボランティアバンク事業の推進
- 4-6 障がい者の学習成果を発表する場の充実
- 4-7 図書館運営の地域協働化の促進
- 4-8 市民の文学活動への支援



▲町田自由民権カレッジ卒業生による
市民協働展展示解説



▲市民協働事業
「時代小説読み語り」の様子

■取組4-1 市民提案型事業の推進【◇】	生涯学習センター
-----------------------------	----------

事業概要	学習ニーズをより反映させた内容となるよう、市民団体の提案を基に地域課題の解決につながる学習講座を提案者とともに作り上げていく市民提案型事業「まちチャレ*」を拡充します。				
これまでの取組	地域で活動する学生団体が企画・運営する学生活動報告会*を開催するとともに、市民提案型事業「まちチャレ」を開始しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	市民提案型事業「まちチャレ」で実施する講座数		5講座	8講座	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5講座実施	6講座実施		7講座実施	8講座実施
	事業実施体制の整備				
年度目標	5講座	6講座	6講座	7講座	8講座

*まちチャレ：市民が日常生活の中の課題等を基に企画提案したものを、生涯学習センターとともに実施する学習講座。

*学生活動報告会：町田市や相模原市で活躍する学生団体が、ポスターブース等で活動内容を紹介するイベント。

■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・文学館
--------------------------------	-------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館では、古文書講座や自由民権力レッシなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 ・文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①研究成果物の刊行に向けた事業数		6事業	8事業	
	②研究発表会等の実施回数		未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業	8事業
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施	実施

施策5 学習を支える環境づくりを進める

<現状と課題>

- 様々な事情を抱え、公的な支援がなければ自由に学ぶことができない状況の人がいます。そのため、学びに対する支援を必要とする人のニーズを把握するとともに、学べる環境を整備する必要があります。
- 学習講座の開催や本に親しむ環境づくりなどの取組は、行政だけではなく、市民団体などにも広がりを見せています。より効果的に学習事業を展開するためには、これらの団体と連携・協力していくことが必要です。
- 地域の歴史や文化は、その地域に誇りや愛着を生むきっかけとなるものであるため、その資源をしっかりと整備・保存・調査・研究等をし、広く市民に親しんでもらえる環境を整備する必要があります。

<取組>

- 5-1 支援が必要な人への学習機会の提供
- 5-2 本と出会う場所の創出
- 5-3 文化財の保存と活用環境の整備
- 5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存
- 5-5 図書館利用者の利便性の向上
- 5-6 地域資料の活用の推進
- 5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施
- 5-8 町田の文学の継承
- 5-9 文学財産の保存



▲高ヶ坂石器時代遺跡（牢場遺跡）
敷石住居跡



▲移動図書館「そよかぜ号」

■取組5-1 支援が必要な人への学習機会の提供【◇】	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①多文化共生*に関する学習事業数		1事業	3事業	
	②社会的困難を抱えた人への学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各種学習事業の実施 関係機関への働きかけ				
	参加者アンケート等によるニーズ調査・ 事業内容への反映			市民意識 調査での ニーズ 把握	新たな 事業の 実施
年度目標 (指標①)	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業
年度目標 (指標②)	3事業	4事業	4事業	5事業	5事業

*多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。

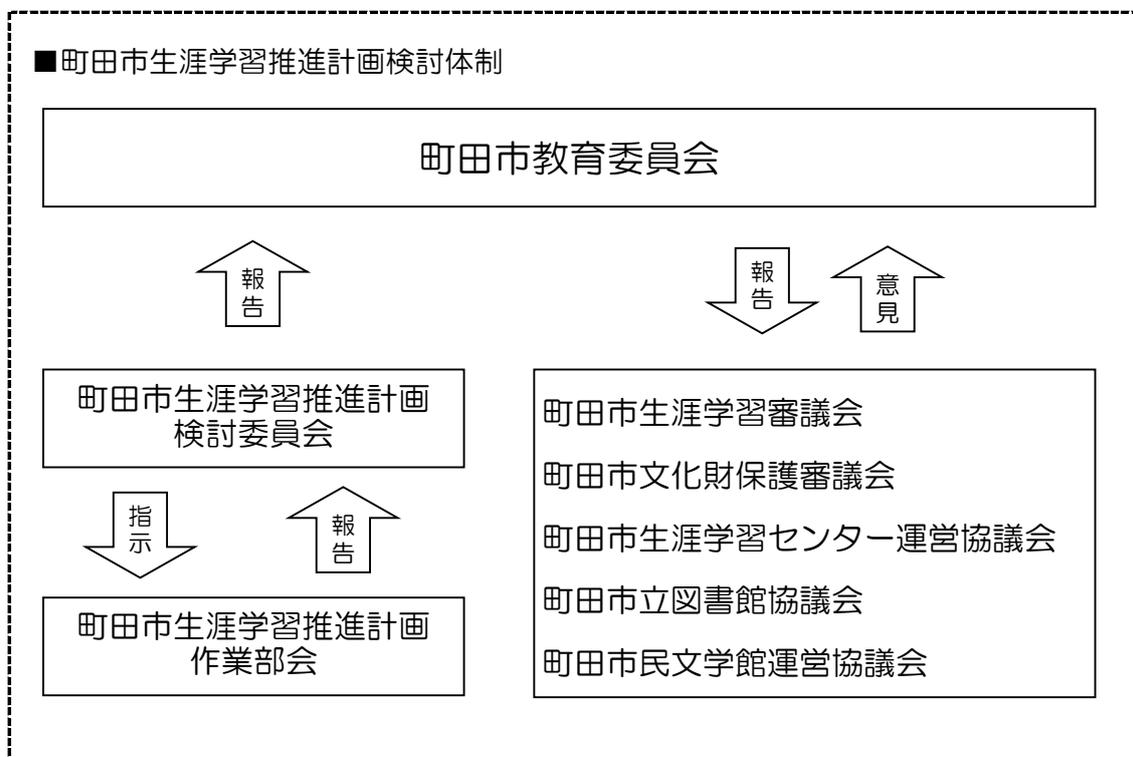
■取組5-2 本と出会う場所の創出【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	町田市には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本に触れることができる施設が各地域にあります。これらの施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①読書活動推進にかかる連携施設数		20か所	25か所	
	②読書マップの作成		未実施	作成・公開 (2020年度)	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	図書の貸出・閲覧やおはなし会がある市民利用施設との連携推進				
	本に触れることができる施設の把握	マップの作成・公開		マップの更新	
年度目標 (指標①)	21か所	22か所	23か所	24か所	25か所
年度目標 (指標②)	施設の把握	作成・公開	検証	更新	検証

*まちライブラリー：47ページのコラム「まちライブラリーとは？」を参照。

町田市生涯学習推進計画検討体制について

町田市生涯学習推進計画の策定にあたり、以下の体制で検討しました。



(1) 町田市生涯学習推進計画検討委員会

計画の策定にあたり、事業の立案や目標の設定、その他必要な事項について調査、検討する組織であり、町田市教育委員会の生涯学習部長を委員長とし、生涯学習部の管理職で構成しています。

(2) 町田市生涯学習推進計画作業部会

町田市生涯学習推進計画検討委員会の下部組織として、計画案策定にあたり必要となるデータ収集や分析、事業の検討等を行い、検討委員会に報告します。町田市教育委員会の生涯学習センター長を部会長とし、生涯学習部の職員で構成しています。

(3) 町田市生涯学習審議会

町田市教育委員会の諮問に応じ、生涯学習・社会教育に関する基本方針の立案や施策の評価などについて調査、審議し、答申する機関です。会の構成は、社会教育委員、生涯学習又は社会教育に関する機関の代表、公募の市民です。